



発行所 財団法人 漁船海難遺児育英会  
〒101-0047 東京都千代田区  
内神田1丁目2番1号  
ISM Otemachi  
電話 03 (3518) 6121  
FAX 03 (3518) 6122

水色の羽根募金運動



挨拶する鈴木俊一理事長(上)、坂本雅信副理事長(下)



### 2025年度 通常(第1回)理事会

鈴木理事長出席のもと5月19日(月)に、東京(日本橋)で理事会を開催しました。

鈴木理事長は会議に際し「遺児の数は減少傾向にあります。毎年痛ましい海難事故により新たな奨学生も生じています。育英会の支援を必要としている子供は100人を超えています。皆さま方からの支援が活動の源(みなもと)であり、昨年度も多額の寄附をいただいた事に感謝いたします」と挨拶しました。

会議では、前年度の事業と収支の報告、理事改選に伴う候補者を推薦する等全ての議案を承認しました。

### 2025年度 定時(第1回)評議員会

6月16日(月)、東京(日本橋)で評議員会を開催しました。

公務により鈴木理事長が欠席のため坂本副理事長が冒頭に「今年、育英会は創立55年を迎えます。この間、大勢の方のご支援により現

### 2025年度 臨時(第2回)理事会

理事改選に伴い、役付き理事を決める第2回理事会を書面で行いました。

「役付理事」敬称略  
理事長 鈴木俊一  
副理事長 坂本雅信  
専務理事 内田珠一

### 2024年度 事業の概要

漁業従事者の海難等の災害により遺児となった子のため、主に以下3つの事業を行った。本会育英事業は、遺児が社会に出るまでの長期間にわたり継続した支援が必要のため、安定した事業運営が継続できるよう社会・経済の変化に適切に対応し、財務基盤の充実と業務の改善に努めた。

#### 【1】学資給与事業(表2)

(1) 採用状況  
奨学生願書は年4回受け付け、新規に16名を採用した。  
(2) 学資給与の実績  
学資給与金は、3か月分ずつ年4回に分けて総額50、152千円を送金した。

(3) 入学・卒業記念品の贈呈  
入学・卒業記念品として総額2、290千円を贈呈した。

【2】奨学金貸与事業  
2019年度から学資給与事業のみとなり、新規の奨学金貸与は行っていない。  
現在は、過去の奨学金貸与金の返還受領と延滞者への督促を行っている。

【3】育英事業推進事業  
奨学金貸与返還等の実績  
奨学金貸与の返還実績は、総額16、524千円で、年度末奨学金貸与残高は183、896千円となった。

(1) 募金活動  
漁船海難遺児を励ます全国協議会、地方協議会、水産関係団体等、JFグループの支援を受けて、財務基盤強化のための募金活動を全国で行った。

(2) 普及指導活動  
①「育英会だより」の発行  
年4回、遺児家庭、励ましおじさん・おばさん、JFグループ、その他関係者に配布した。  
②奨学生・保護者との交流活動  
奨学生と保護者、奨学生同士、保護者相互の交流を深めるため、毎年、子供の夏休みに宿泊を伴う「ふれあい旅行」を実施している。本年度は7月26～28日に栃木県茂木町とその周辺で実施し、奨学生8人、保護者5人の計13人が参加した。

(3) イベントでの広報・募金活動  
広く社会、業界関係者に漁船海難遺児のための育英事業を知ってもらい、今後、支援を広げるため、全国豊かな海づくり大会など大型イベント会場で、育英会活動内容の広報、資料の配布、募金活動を実施した。

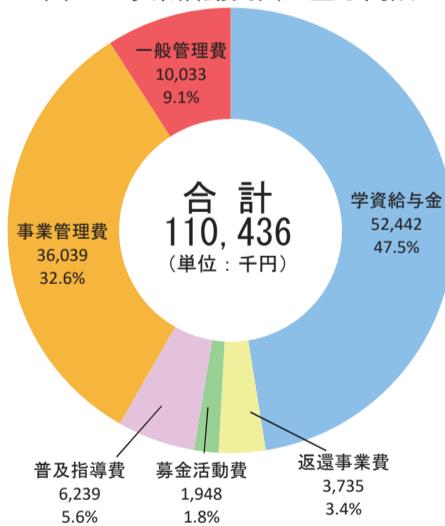
(4) その他広報  
本会の活動内容を多くの国民に知ってもらい、広く支援を得るため、報道機関等への広告出稿、取材等の協力を得るなどの広報活動を行った。ホームページは常に最新の情報へ更新し、情報発信を行っている。

(3) 実態調査  
中学校、高等学校等及び大学等の卒業生の進学・就職に関する動向等、卒業後の進路を調査した。(図2～4参照) 加えて、地協協の支援協力を得ながら、奨学生、遺児家庭からの就学、進路などに関する相談にも対応し、奨学生が希望する進路の選択、就学の継続ができるよう支援した。

【4】寄附金  
(1) 水色の羽根募金(単発的な個人から大口の寄附金(200万円)を受けたため、寄附金総額は620万円となった。

(2) 励ましおじさん・おばさん奨学資金(期間等を決めた「寄附」)年度末数69名、200万円の寄附が寄せられた。

図1 事業活動支出の主な内訳



(表1) 学資給与事業金額表 (単位: 円)

給与	月額	幼児(3~5歳)	小学生	中学生	高校生等	大学生等
		入学記念品		70,000	50,000	50,000
卒業記念品(就業する者)				70,000		

注: 特別支援学生には、高校生等と同額の月額を20歳(条件あり)まで支給

(表2) 学資給与事業の実績 (単位: 千円、人)

給与	学資給与金			入学記念品		卒業記念品		異動(増・減)	年度末合計	
	継続者	新規	送金額	対象者	送金額	対象者	送金額		奨学生数	送金額
幼児	3	1	576	-	-	-	-	4	576	
小学生	20	1	3,276	2	140	-	-	21	3,416	
中学生	25	1	7,200	7	350	-	0	26(1)	7,550	
高校生等	38	2	14,400	9	450	-	-	39(1)	14,850	
大学生等	30	11	24,700	9	1,350	-	-	41	26,050	
計	116	16	50,152	27	2,290	-	-	131(2)	52,442	

※( )内の数字は特別支援学生数で内数である。特別支援学生は高校生等と同額を支給。

図4 大学等卒業者(15名)

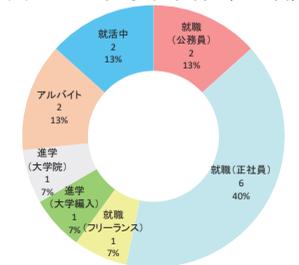


図3 高校等卒業者(11名)

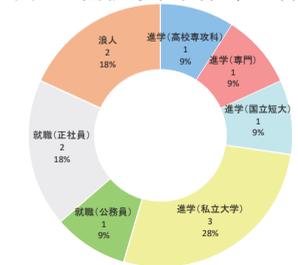
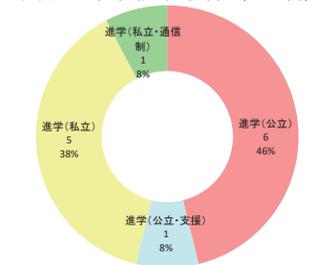


図2 中学校卒業者(13名)



### 奨学生・保護者交流活動行事 「ふれあい旅行」(お便り)

「奨学生・保護者交流活動(以下、ふれあい旅行)」のご案内(今年度対象全員)に対し、ご回答をいただきありがとうございます。今回は多くの方より温かいお言葉や、やむを得ない理由で参加を断念された方が多くいらっしゃいましたので一部ご紹介させていただきます。次回も皆さんの良い思い出の一部になれる様、企画させていただきます。

#### 【アンケート結果】

参加 22%  
不参加 43%  
未回答 35%

【参加者人数・子ども22名、保護者15名、合計37名】

5歳	1名(女)
小4	1名(男)
小6	1名(男)
中1	2名(男)
中2	1名(男)
中3	2名(男)
高1	3名(男2, 女1)
高2	3名(男2, 女1)
高3	3名(男1, 女2)
19歳	1名(女1)
20歳	1名(女1)
21歳	2名(男1, 女1)
24歳	1名(男1)

#### 【不参加理由】

- ・部活等
- ・仕事
- ・日程が合わない
- ・学校がある
- ・塾
- ・病気療養中
- ・遠方のため

#### 【事務局より】

今年度、ふれあい旅行の内容をリニューアルさせていただきますが、北海道・東北地方は夏休み

が終わってしまっていることが今回のアンケート結果により判明しました。該当するご家族の皆さまにお詫び申し上げます。次回はもう少し早い時期を検討させていただきます。

### 第73回 浅海増殖研究発表全国大会

6月4日(水)、神戸市産業振興センター(兵庫県神戸市)にて「第73回浅海増殖研究発表全国大会(共催：浅海増殖研究中央協議会・全国海苔貝類漁業協同組合連合会)」が開催され、全国から海苔生産者等約250名が集結しました。

この大会はノリ生産者をはじめとする浅海増殖業者の年に一度の祭典として、第1回大会が1951(昭和26)年に水産庁会議室で開催されて以来毎年開催されております。

これまで続けられてきた全国大会は、漁業者同士の交流の場として、またネットワーク作りの場として大いに役立ち、特に若いノリ生産者の方には、発表された数多くの成果を引き継ぎ、更に発展向上と浅海漁業の振興に寄与することを目的に行われています。

本会においては、主催者様のご厚意により会場入口にて募金活動を行い、来場された皆さまより温かいご支援を賜ることができました。

#### 大会

主催者様はじめ、ご支援・ご協力いただいた多くの皆さまに心より御礼申し上げます。



### 全国海難防止強調運動

7月16日から31日までの16日間、「全国海難防止強調運動(主催：公益社団法人日本海難防止協会、公益財団法人海上保安協会、海上保安庁)」(運動名「海の事故ゼロキャンペーン」)が実施されます。

この運動は、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、官民の関係者が一体となって展開する海難防止の全国運動です。

#### ア<小型船舶の海難防止>に関する推進項目

(ア)プレジャーボートの発航前検査の徹底及び整備事業者等による定期的な点検整備の推奨  
令和6年のプレジャーボートによる船舶事故は853隻で、前年から37隻減少したものの、依然として船舶事故全体の約5割を占めている。特に、プレジャーボート

### 2025年度 第1回奨学生選考委員会

5月15日(木)、本会事務所(東京都千代田区)にて「2025年度第1回奨学生選考委員会」を開催し、給与奨学生出願者(4月25日締切)の選考について審議しました。この結果、中学生1名、高校生2名、大学生等7名、計9名の採用が決定されました。



の海難種類別で割合の高い傾向にある機関故障は187隻で、前年から29隻減少しているものの、引き続き、発航前検査の徹底を図るとともに整備事業者等による定期的な点検整備の重要性について積極的に周知啓発し、運航者の安全意識の一層の向上を図る。

(イ)漁船の適切な見張り及び気象海象の把握の徹底  
令和6年の漁船の船舶事故は472隻で、前年から64隻増加しており、船舶事故全体の26%を占めている。漁船の船舶事故は衝突によるものが最多であり、その原因は、見張り不十分によるものが最も多い。また、死者・行方不明者も多いため、死者・行方不明者を伴う船舶事故の47%を漁船が占めており、その原因は、気象海象の不注意から生じる転覆によるものが多くことから、適切な見張り及び気象海象の把握の徹底を図る。また、AIS搭載義務の無い小型漁船についても、AISを搭載することにより、自船の動静を大型船に容易に認識させることができるなど事故防止に寄与するため、リーフレットの活用などによりAIS搭載の推進についての周知・啓発に努める。

(ウ)多様化・活発化するマリネレジャーの安全対策  
令和6年のマリネレジャー活動に伴う人身事故者数は830人で、前年から28人減少した。近年、カヌー・SUP等のマリネレジャーが多様化・活発化しており、これらは小型船舶操縦士免許や検査が不要なものが多く海に關する基礎知識が少ない者が利用していることもあるため、マリネレジャーごとに安全情報等を総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」の普及啓発やリーフレットの配布、動画、SNS等を用いた情報発信等を積極的に行い、マリネレジャー愛好者の安全意識の向上を図る。

#### エ海の安全情報を利用した啓発

プレジャーボートや漁船等の操縦者、海水浴や釣り等のマリネレジャー愛好者に対して、気象・海象の現況、気象庁が発表する気象警報・注意報等を海の安全情報に発信することで、安全意識の向上を図る。

(イ)見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進に関する推進項目  
令和6年の総トン数20トン以上の船舶事故数は366隻で、前年から25隻増加しており、事故種類別では依然として衝突が最多で、31%を占めている。引き続き、貨物船やタンカー等の大型船舶による衝突海難を防止するため、次の事項に重点を置き、常時適切な見張りの徹底や船舶間のコミュニケーションの促進にかかる意識の啓発を図る。

(ア)常時適切な見張りの徹底  
相手船の存在を認識しているにも関わらず、不適切な進行により衝突に至る事故が多いことから、BRMの徹底を図るとともに、船舶間にて互いに確認し、常時適切な見張りの徹底を図る。

(イ)船舶間コミュニケーションの促進  
次により、早期に船舶間の意思疎通を図り、相手船の動向を把握することで、適切な操縦を行う。早めに相手船にわかりやすい動作をとる。

(ウ)漁らう中の船舶との衝突防止  
漁らう中の船舶は、投揚網、漁場移動等に伴い急な発進・停止等不測の動きをする場合があることから、特に動静に留意し、早期かつ大幅な避航を心掛ける。

(エ)ヘライフジャケットの常時着用  
海中転落した乗船者の安全を確保するために、①浮力の確保、②連絡手段の確保、③速やかな救助要請という3点が重要であることから、プレジャーボート、漁船及び遊漁船等に対し自己救命策の確保(ライフジャケット常時着用及び防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保並びに「118番」や「NET118」の活用、またGPS機能を「ON」とした携帯電話による通報)に関する周知徹底を図る。

加えて、事故発生時における早期の通報、ひいては迅速な救助につながるため、家族や友人、関係者に目的地や帰宅時間を事前に伝え、現在位置を定時連絡することにも有効であると周知する。

なお、ライフジャケットの着用については、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の一部改正により、小型船舶に乗船する者へ義務範囲が拡大されたことも踏まえ、た推進活動を実施する。

エ<ふくそう海域等の安全性の確保>に関する推進項目  
異常気象等に起因する船舶事故を防止するための制度について、リーフレットやホームページ(走船事故防止ポータルサイト等)を活用し、本制度の理解促進を図るとともに、最新の気象・海象情報の入手など事故防止に係る取組の徹底を図る。

大山株式会社  
大山孝勇氏より  
ご寄附 感謝状贈呈

2024年10月、大山株式会社  
大山孝勇氏からご寄附をいただき  
ました。  
大山氏は、鈴木善幸前理事長と  
の親交が深く、またご自身も真珠  
養殖をしていた経緯から「今でき  
る支援として海難遺児のために  
と」ご寄附をされました。



今年6月、自民党総務会長室に  
て、本会鈴木俊一理事長から大山  
氏へ感謝  
状をお渡  
し、「大  
切に使わ  
せていた  
だきま  
す」と謝  
意をお伝  
えしまし  
た。

西華産業株(グループ)より  
ご寄附 感謝状贈呈

2025年3月、西華産業株式  
会社とグループ会社であるセイカ  
ダイエーエンジン株式会社、敷島機  
器株式会社より共同で2百万円の  
ご寄附をいただきました。



船用エンジンの販売事業を手掛  
ける企業グループとして、本会事  
業の趣旨に賛同され、ご寄附をい  
ただく事になりました。  
このご寄附に対する謝意をお伝  
えするため、4月、東京丸の内の  
西華産業  
を訪ね、  
本会内田  
専務から  
西華産業  
の増田常  
務へ感謝  
状をお渡  
ししまし  
た。

ご寄附のお礼

2025年3月から5月までに  
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名  
(敬称略)を掲げ、厚くお礼申し  
上げます。

励ましおじさん・おばさん

- 〔3月〕◎北海道▽本間雅彦◎青  
森県▽野呂英樹◎岩手県▽若狭み  
か子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県  
▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉  
県▽岩山裕史▽小林哲朗◎西田耕  
太郎▽深瀬茂哉▽松本安裕◎千葉  
県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一  
▽大類裕久▽新塘博文▽中島健  
▽榎垣浩輔▽若林満◎東京都▽上野  
新治▽岡部典子▽梶山千草▽勝野  
輝美▽河内健▽木村吉男▽榊洋  
代表取締役 磯野洋志▽高田明生▽  
戸田満弘▽株式会社バリアフリー▽  
長谷成人▽廣野淳▽水田正和▽森  
健▽山下恭助◎神奈川県▽石川和  
彦▽井上清和▽越智豊子▽黒萩真  
悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本  
哲也▽山本道郎◎京都府▽北村卓  
大◎大阪府▽道本孝治◎兵庫県▽  
三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎  
佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端  
京子

水色の羽根募金

1、漁協系統募金(各都道府県の  
漁連、信漁連等で構成する「漁船  
海難遺児を励ます地方協議会(略  
称「地協」)等で取り扱った分、  
一般寄附を含みます。)

- 〔4月〕◎北海道▽本間雅彦◎青  
森県▽野呂英樹◎岩手県▽若狭み  
か子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県  
▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉  
県▽岩山裕史▽小林哲朗◎西田耕  
太郎▽深瀬茂哉▽松本安裕◎千葉  
県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一  
▽大類裕久▽新塘博文▽中島健  
▽榎垣浩輔▽若林満◎東京都▽上野  
新治▽岡部典子▽梶山千草▽勝野  
輝美▽河内健▽木村吉男▽榊洋  
代表取締役 磯野洋志▽高田明生▽  
戸田満弘▽株式会社バリアフリー▽  
長谷成人▽廣野淳▽水田正和▽森  
健▽山下恭助◎神奈川県▽石川和  
彦▽井上清和▽越智豊子▽黒萩真  
悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本  
哲也▽山本道郎◎京都府▽北村卓  
大◎大阪府▽道本孝治◎兵庫県▽  
三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎  
佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端  
京子

- 子▽黒萩真悟▽樋口知路▽三木奈  
都子▽森本哲也▽山本道郎◎京都  
府▽北村卓大◎兵庫県▽三木周子  
◎山口県▽熊谷佐枝子◎佐賀県▽  
久米正剛◎長崎県▽川端京子
- 〔5月〕◎北海道▽本間雅彦◎青  
森県▽野呂英樹◎岩手県▽若狭み  
か子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県  
▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉  
県▽岩山裕史▽小林哲朗◎西田耕  
太郎▽深瀬茂哉▽松本安裕◎千葉  
県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一  
▽大類裕久▽新塘博文▽田中郁也  
▽中島健▽榎垣浩輔▽若林満◎東  
京都▽上野新治▽岡部典子▽梶山  
千草▽勝野輝美▽河内健▽木村吉  
男▽榊洋代表取締役 磯野洋志▽  
高田明生▽戸田満弘▽株式会社バ  
リアフリー▽廣野淳▽水田正和▽森  
健▽山下恭助◎神奈川県▽石川和  
彦▽井上清和▽越智豊子▽黒萩真  
悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本  
哲也▽山本道郎◎京都府▽北村卓  
大◎大阪府▽道本孝治◎兵庫県▽  
三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎  
佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端  
京子
- JFくろべー自販機売上一部(株  
ワンハート)経由▽JF魚津◎静岡  
県▽JF静岡漁連▽南駿河湾漁業  
協同組合女性部◎福井県▽漁船海  
難遺児を励ます福井県協議会◎三  
重県▽漁船海難遺児を励ます三重  
県協議会▽JF三重県女性連◎京  
都府▽漁船海難遺児を励ます京都  
地方協議会◎兵庫県▽JF兵庫県  
女性連◎島根県▽漁船海難遺児を  
励ます島根県地方協議会◎広島県  
▽JF広島漁連▽JF阿賀▽JF  
音戸▽JF宮島▽JF広島市▽J  
F江田島▽JF切串▽JF東江▽  
JF美能◎山口県▽じやけえ笠戸  
島代表 宮本裕子▽宇部岬げんしき  
網実行組合 榊井国雄▽山口県漁協  
青壮年部連合会▽山口県漁協柳井  
支店女性部 大野▽JF山口 本店、  
阿武支店 宇田郷支店、安下庄支店、  
伊崎支店、宇部岬支店、蓋井島支  
店、吉見支店、吉佐支店、見島支  
店、三見支店、柳井支店、六連島  
支店◎愛媛県▽パールフェア▽愛  
媛県漁業共済組合いぎよさい創設  
60周年記念式典▽JFえひめうわ  
うみ支所、ひうち支所、宇和島支  
所、渦浦支所、下灘支所、下波支所、  
河原津支所、垣生支所、関前支所、  
岩城生名支所、菊間支所、宮窪支  
所、弓削支所、魚島支所、高浜支  
所、今治支所、今出支所、桜井支所、  
三浦支所、三崎支所、志津見支所、  
新居浜支所、壬生川支所、西条支  
所、川之江支所、多喜浜支所、大  
浜支所、中島三和支所、中島支所、  
伯方支所、北条支所、北灘支所、  
明浜支所、遊子支所、和氣支所▽  
愛媛県青年漁業者連絡協議会▽漁  
船海難遺児を励ます愛媛県協議会  
▽佐々木光昭◎高知県▽JF高知  
県女性連◎福岡県▽佐藤政俊▽J  
F福岡ぎよれん◎福岡県有明▽J  
F大和▽JF福岡ぎよれん経由◎  
長崎県▽(一社)長崎県水産加工  
振興協会▽漁船海難遺児を励ます  
全国協議会 長崎県事務局◎熊本県  
▽JF住吉◎鹿児島県▽JF市来  
町▽鹿児島まぐる同友会▽JF鹿  
児島県女性連▽JF鹿児島漁連
- 〔4月〕◎宮城県▽JFみやぎ唐  
桑支所▽鳥羽一郎 第93回漁船海難  
遺児チャリティ漁港コンサート募  
金(第39回)リアス牡蠣まつり唐桑  
◎千葉県▽JF富津▽自販機売上  
一部▽コカ・コーラポトラーズ  
ジャパン(株)経由◎東京都▽三田会  
長を偲ぶ会▽(有)船宿 豆や◎富山県  
▽JFくろべー自販機売上一部▽  
株ワンハート)経由◎佐賀県有明▽  
漁協職員互助会▽解散による◎沖  
縄県▽JF糸満(資)カワヒラ  
商会▽自販機売上一部▽ダイドー  
ドリンク(株)沖縄オフィス経由▽柴  
田哲也
- 〔5月〕◎北海道▽深山和彦▽お  
母上様のご葬儀にあたり◎富山県  
▽JFくろべー自販機売上一部▽  
株ワンハート)経由◎JFとやま市  
岩瀬支所◎香川県▽寒川昌彦▽お  
父上様のご逝去に際し香典返しと  
して
- 2、一般寄附
- 〔3月〕◎北海道▽清水泰◎東京  
都▽第30回全国青年・女性漁業者  
交流大会募金(一社)全国漁業  
就業者確保育成センター 第30回  
全国青年・女性漁業者交流大会物  
販売上金の一部ほか(一社)全  
国底曳網漁業連合会▽海洋土木(株)  
▽阪井光平▽西華産業(株)▽セイカ  
ダイエーエンジン(株)▽敷島機器(株)  
▽大城朋江▽日本漁船保険組合▽鈴  
木和子◎神奈川県▽国交省 関東運  
輸局◎山梨県▽北里大学海洋生命  
科学部同窓会 三永会◎長崎県▽壱  
岐地区漁業士会◎熊本県▽中村祐  
一◎その他▽橋詰憲孝
- 〔4月〕◎北海道▽清水泰◎岩手県  
▽金沢漁業(株)代表取締役 金澤真里  
子◎埼玉県▽植松千代子◎東京都  
▽阪井光平▽石渡美佳▽川原明子  
▽農林中央金庫▽鈴木和子◎富山  
県▽布目久幸◎大阪府▽松井優紀  
子◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡県▽  
(一社)福岡市中央卸売市場鮮魚市  
場協会▽福岡市鮮魚卸協同組合  
▽自販機売上一部▽コカ・コーラ  
ポトラーズジャパン(株)経由◎鹿児  
島県▽全国海友婦人会 羽島支部◎  
その他▽マツバラユカリ
- 〔5月〕◎北海道▽清水泰◎東京  
都▽阪井光平▽片岡亮▽鈴木和子  
◎神奈川県▽株中冷◎奈良県▽川

奨学生からのお便り

※寄附金は、全て公益目的事業であ  
る漁船海難遺児等に対する修学助成  
事業に使用させていただきます。

邊一郎◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡  
県▽内浜落語会◎その他▽ハママ  
ツノリヨシ

※長い間ありがとうございました。  
た。無事に就職する事が出来まし  
た。お世話になりました  
(和歌山 高卒)

※今まで、本当にお世話になりま  
した。自分の夢に向かって、歩み  
出す事が出来て、感謝の気持ちで  
いっぱいです。(岩手 専卒)

※大変お世話になりました。本当  
にありがとうございました。  
(岩手 大卒)

※長い間、本当にありがとうございました。  
いきました。感謝、感謝です。  
(愛媛 大卒)

※今までありがとうございました。  
た。大変助かりました  
(北海道 高卒)

※福岡の専門学校を卒業し、この  
4月より体育大学に3年次編入で  
入学することになりました。学問、  
スポーツ、部活(硬式野球部)と、  
がんばっていきます。いつもあり  
がとうございます。よろしくお願  
い申し上げます。(鹿児島 大3)

※小学1年生から、大学4年生ま  
でありがとうございました。無事、  
卒業し、就職することができまし  
た。社会人として、がんばってい  
きたいと思えます。本当にありが  
とうございました。  
(鹿児島 大卒)

※これまで沢山のご支援、ありが  
とうございました。(青森 高卒)

※長年にわたりご支援いただき、  
ありがとうございます。  
(長崎 専卒)

※本日(3月25日) 大学院を卒業  
しました。4月から社会人として  
皆様への感謝の気持ちを忘れず頑  
張りたいと思えます。  
(佐賀 大院卒)



### 保護者からのお便り

\*長い間、ご支援を頂きましてありがとうございます。就職も決まり一安心しております。これからも社会の貢献にがんばります。

(三重 大卒・母)

\*今まで支えて下さった貴会の皆様、そして支給業務に携わって下さった全ての皆様に、心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

(鹿児島 高卒・母)

### 寄附者からのお便り

\*山、河の汚染、際限がありませんね。まず、為政者の良識ですが、地球に住む私たちこそ、早くめざめて、幸せに共生したいものです。

(埼玉県)

\*テレビでみる争い事、すごい事です。人間がより、今よりもっともっとと欲を追求していくところに気づき良識にめざめねばなりませんね。

(埼玉県)

### 第52回 戦没・殉職船員追悼式

5月14日(水)、神奈川県横浜賀市観音崎公園内「戦没船員の碑」にて、「第52回戦没・殉職船員追悼式(主催…(公財)日本殉職船員顕彰会、内藤忠顕会長)」が行われ、加古川事務局長が参列致しました。



### 第50回 兵庫県漁民物故者合同供養祭

6月11日(水)、和歌山県高野山大学黎明館(れいめいかん)(和歌山県伊都郡)にて「第50回兵庫県漁民物故者合同供養祭(主催…JF兵庫漁連、田沼政男会長)」が行われ、三上主査が参列致しました。

物故者の方々のご冥福を心よりお祈り致します。



### 返還奨学生の方へ

皆さんから返還されたお金は、後輩の奨学生に再び奨学金として活用される資金となります。返還は期限を守り、滞ることのないようお願いします。返還計画に対し、繰上一括返還をした場合「報奨金」が交付されます。(※但し、過去に1年以上の延滞があった者は除く、その他本会規程に基づき該当しない場合があります。)

なお、転居・ご結婚等された方は「変更届」(戸籍の伴う変更の場合は戸籍謄本の提出も必要)の提出が必要です。

また、止むを得ない事情で返還が困難な方、滞納金で悩んでいる方は本会へご相談ください。  
03-35518-6121

### 全国からの募金活動報告

ご報告が遅くなりましたが、毎年文化祭にて本会募金活動にご協力をお願いしております「茨城県立海洋高等学校・海洋祭」のご紹介させていただきます。

開催日は2024年10月25日・26日、一般来場者は700名と多くの皆さまが足を運ばれた中、生徒会・実行委員会の皆さん25名で本会の募金活動にご協力いただきました。

温かいご支援をくださった皆さま、活動にご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。



### 漁船海難遺児と母の文集

昨年の10月よりお願いしていただいた文集作品ですが、皆さんより多数の作品が寄せられました。ご協力いただきましたました奨学生・保護者・卒業生皆さんの現在の貴重な記録として、命の大切さを広く多くの方に知ってもらい、また海難事故撲滅にもつながることを願って本会55周年記念文集を作成したいと思います。ご協力いただきました皆さんに心よりお礼申し上げます。

なお、発刊につきましては、2025年10月ごろを予定しております。



▲本会の歴代文集(毎5年)

### 編集後記

皆さん、進級、進学、就職等おめでとうございます。そろそろ慣れてきて楽しくなってきたらいい方、いろいろあってどうしていい方、うちの娘は社会人1年生で、後者の方です。充実している時もありますが、泣いている時、悩んでいる姿をみると自分が新人のころを思い出します。

運よく楽しく過ごしている人もいますが、慣れない環境は知らず知らずのうちに頑張っているの、ふとした瞬間気持ちが折れやすくなっています。これって、おそらく原始人の時代の人も戦国時代の人も、昔から新人あるのだと私は思うのです。でも原始人は悩んでいたらマンモスに踏まれて死んじゃうし、戦国時代だったら切られて死んじゃいます。現代は平和ですし、選択肢がたくさんあるので頑張っても、逃げて死にません。人生100年。笑って過ごせる日を増やしましょう。(K)

### 都道府県別学資給与奨学生数

(2025年6月末現在/単位:人)

都道府県	給与奨学生					合計
	幼児	小学校	中学校	高校等	大学等	
北海道		3	5	7	4	19
青森		1	3			4
岩手		1	2	(1) 6	2	(1) 11
宮城		2	1	1	3	7
秋田						
山形						
福島		3	2	3	3	11
茨城			1	1		2
千葉		1	1	4	2	8
東京						
神奈川				2		2
新潟					1	1
富山				1	2	3
石川	1			(1) 3		(1) 4
静岡		1				1
愛知				1	1	2
福井		1				1
三重				2		2
京都						
大阪						
兵庫	1		1		1	3
和歌山				3	2	5
鳥取			2			2
島根						
岡山						
広島						
山口						
徳島						
香川				1		1
愛媛				1	1	2
高知		1	1			2
福岡					1	1
福岡有明					1	1
佐賀玄海						
佐賀有明						
長崎				3	2	5
大分						
熊本			2	2	1	5
宮崎					1	1
鹿児島	1	1			1	3
沖縄				1	2	3
合計	3	15	21	(2) 42	31	(2) 112

注1:( )内は特別支援学生で内数である。  
注2:休学中の者は数に含まない。